

# 令和2年度水稻・園芸・畜産振興計画

島根県農業協同組合 島根おおち地区本部

## 農業振興基本方針

「食と農を基軸とした地域に根ざした協同組合」として、相互扶助の理念に基づき、消費者へ安全・安心な国産農畜産物をお届けし、農業者の所得増大、地域の活性化を実現するため、様々な取り組みを行い、農業のさらなる成長を促します。

島根おおち地区本部の特色である自然環境と地理的条件を活かした農業振興を強化すると共に基本理念である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に向け以下の取り組みを行います。

1. 水稻・・・販売に結びついた米の生産を基本とした、消費者と農家を繋ぐ取り組み
2. 園芸・・・複合経営による所得確保を目指した作物の提案や水田フル活用に向けての取り組み
3. 畜産・・・畜産総合センターを活用した生産基盤維持に向けての取り組み
4. 食育・・・農業を通じて食の大切さを次世代に引き継ぐ取り組み
5. 地域・・・担い手経営体や担い手の経営安定に向けての取り組み

## 1. 水稻の振興

令和元年における全国の主食用水稻作付面積は137.9万haで、前年より7千haの減少となっています。

米の全国作況指数は99で予想収穫量734万6千tの見込みで、前年産に比べ7万6千tの減少が見込まれています。島根県の作況指数は、99で(県西部は97)10a 当り収穫量は506kgの「平年並み」となりました。

米の品質においては、管内の1等米比率は82.7%(10月末現在)(前年87.9%)と前年を下回り、格下げ理由としてはコシヒカリを中心に「心白粒」・「基部未熟粒」が大半を占めていました。これは、登熟期高温と水分不足が原因と考えられ、今後の栽培においては気象に応じた水管理と昼夜の温度差を設ける夜間灌水など、高温障害対策をしていく事が重要となります。また、本年は晩生品種を中心に「ウンカ被害」が多発し、管内で18haの被害圃場がありました。今後ウンカの飛来情報などに注意し、指導を強化して参ります。

品種においては、高温障害を受けにくい「きぬむすめ」、「つや姫」の品種転換を進めており、特に特別栽培米「つや姫」は前年比118%増の約65haとなりました。

JAしまねでは、2段階の支払い制度を設け、出荷時と年末の追加払いで農家の所得向上を図っております。今後も、管内の特別栽培米の更なる振興と島根おおち産米全体の品質向上及び有利販売につながる米づくりを目指していきます。

### (1)【販売に結びついた米生産の取り組み】

特別栽培米「石見高原ハーブ米®」の生産量確保と、近年評価の高まっている「つや姫」の栽培面積の拡大を図り、消費者や販売店の要望に即した「販売に結びついた米づくり」に取り組むことで農家所得の向上を目指します。

#### 1)特別栽培米「石見高原ハーブ米コシヒカリ」の振興

生協に結びついているハーブ米コシヒカリにおいては、品質維持と安定供給を目指し生産面積の拡大に取り組めます。

- ・生産地域 邑南町
- ・販売先 生協ひろしま・生協CS
- ・供給量 2年度供給量 500t 栽培面積 155ha

#### 2)特別栽培米「石見高原ハーブ米きぬむすめ」の振興

品質の安定しているハーブ米きぬむすめについては、生産数量の確保と販売先への定着を図ります。

- ・生産地域 邑南町 川本町 美郷町 江津市桜江町
- ・販売先 関東、関西、生協CS
- ・供給量 2年度供給量 190t 栽培面積 60ha

#### 3)特別栽培米「つや姫」の振興

高温登熟性に優れ、コシヒカリと同様の作期と同等の販売価格が見込めるため、コシヒカリの1等米比率の低い地帯で代替品種として栽培に取り組めます。

元年産米は、昨年度より品質が向上したことから、引き続き島根県指針どおり適正管理を指導していきます。

- ・生産地域 邑南町 川本町 美郷町 江津市桜江町
- ・供給量 栽培面積 70ha

#### 4)石見高原ハーブ米の振興 (事業費 700千円)

【新規生産者又は増反生産者増反分】 レッドクローバー、クリムソクローバーの種子代金全額助成

【継続生産者】 レッドクローバー、クリムソクローバーの種子代金1/3助成

(2)【特別栽培米の生産計画】

|         | ハーブ米コシヒカリ |        | ハーブ米きぬむすめ |        | つや姫    |        |
|---------|-----------|--------|-----------|--------|--------|--------|
|         | 面積(ha)    | 出荷量(t) | 面積(ha)    | 出荷量(t) | 面積(ha) | 出荷量(t) |
| H28(実績) | 131       | 445    | 25        | 98     | 28     | 92     |
| H29(実績) | 156       | 534    | 22        | 85     | 42     | 136    |
| H30(実績) | 151       | 510    | 32        | 110    | 57     | 165    |
| R1(実績)  | 154       | 496    | 56        | 167    | 65     | 179    |
| R2(目標)  | 165       | 500    | 60        | 230    | 70     | 230    |

(3)【地力増進対策による品質及び収量の向上】

堆肥や土壌改良材等の土づくり資材の使用が減少し、地力低下や気象変動による品質悪化・収量減少が問題となっております。土づくり資材を利用し地力の回復を図り健全な稲体づくりを行うことで、品質・収量の向上に取り組めます。

- 1) 堆肥及び土壌改良材の施用により品質・収量の向上につなげます。
- 2) 特に近年の気象により、幼穂形成期の稲体への水不足を要因とする品質低下が見られ、良品質米確保の為に管理指導を徹底していきます。

(4)【地域による品種別作付け目標と品種構成】

施設や労働力の効率的な配分を目指した作付け体系の普及を図るため、管内の品種別作付け普及割合は次のとおりとし、「きぬむすめ」の作期を広げることににより栽培面積の拡大を進め、平坦部の等級改善に「つや姫」の普及を進め、地帯別の作付け体系に取り組めます。

1) 管内における米の作付割合

|       |     |                 |
|-------|-----|-----------------|
| コシヒカリ | 60% | 高品質・良食味対応       |
| きぬむすめ | 25% | 作型分散、高温障害対策     |
| つや姫   | 5%  | 作型分散、高温障害対策     |
| その他   | 10% | その他うるち・もち・醸造用含む |

2) 地帯別作付け普及割合目標

- 邑南地域 コシヒカリの1等米比率が過去3年において90%前後であり、品質が安定し、販売先に結びついているコシヒカリの生産量を確保します。
- 美郷地域 コシヒカリの1等米比率が過去3年において70%台であり、今後、コシヒカリの作付面積を50%に誘導し、きぬむすめとつや姫の作付面積を合わせて40%に向けて拡大します。
- 川本・桜江地域 コシヒカリ1等米比率が過去3年において60%台であり、コシヒカリの作付面積を40%に誘導し、きぬむすめとつや姫の作付面積を合わせて50%に向けて拡大します。

【地帯別作付け割合目標】

| 地 域<br>品 種 | 邑南地域 | 美郷地域 | 川本・桜江地域 |
|------------|------|------|---------|
| コシヒカリ      | 80%  | 50%  | 40%     |
| きぬむすめ      | 10%  | 30%  | 40%     |
| つや姫        | 5%   | 10%  | 10%     |
| その他        | 5%   | 10%  | 10%     |

3) 良品質米の生産と地帯別作付け誘導に向けた対策

品質低下を防ぐため高温対策による遅植を進め、良品質米の生産に取り組めます。

○配達時期別価格差 5月下旬配達 (5/21～) 通常より10%下げた価格

(5)【生産履歴支援システムの活用と安全対策の取組】

- 1) 種子更新の徹底と生産履歴支援システムの活用により全量「JAしまね米」を目指します。
- 2) 「農薬の適正保管・適正使用運動」を展開し、農薬の適正使用を徹底します。
- 3) 美味しまね認証の取り組みによる環境の保全への配慮、従事者の安全へ向けた取り組みを実施します。

**(6)【各種試験圃の設置】(事業費 50千円)**

- 1) 高温障害対策として遅植え推進や水管理に対する作業体系を示します。
- 2) 新たな肥料・農薬について実証圃の設置し試験を行います。
- 3) 肥料・農薬等の低コスト資材や省力化を目的とした試験を行います。
- 4) 業務用多収穫米について、展示圃場を設置し試験を行います。(つきあかりの実証圃設置)

**(7)新規需要米と大豆の振興**

交付金を活用し国が示す自給率向上を目的とした戦略作物を中心に以下の作物の振興を図ります。

**1) 新規需要米の振興**

生産調整と農家所得の確保を目的として水田を活用した新規需要米について振興を図ります。

「飼料用米」・・・交付金を活用した所得確保を目的として、うるち米「きぬむすめ」による飼料用米に取り組みます。

「飼料用稲」・・・団地化を図り、畜産農家及び収穫組織と連携し取り組みます。

**2) 大豆の振興**

水田活用交付金対象である大豆について、栽培指導やサポート体制により団地化を図ります。

**2. 園芸の振興**

**《重点品目の振興》**

**【1.白ネギの振興】**

(事業費 2,500千円)

- 1) 指導会を実施し品質向上を図り、増反を目指した機械化や、白ネギ出荷調整場を利用した栽培を生産者に促し産地拡大を目指します。
- 2) 消費者に「島根おちろ白ネギ」をPRするため販売促進活動を実施します。
- 3) 白絹・軟腐病対策として土壌消毒技術の普及を図ります。また、白絹・軟腐病対策として下記の農薬の助成を行います。  
①オリゼメート粒・ユニホーム粒の予約注文分に対して1/3助成
- 4) アザミウマ、ネギコガ、ハモグリバエ対策として、品質向上のため下記の農薬の助成を行います。  
①ダントツ粒剤の予約注文分に対して1/3助成
- 5) 面積拡大を目指して以下の苗代助成対策を実施します。(面積はミニネギ8枚/a、白ネギ6枚/aで換算する)  
①10a以上作付者に対して苗代助成 500円/枚  
②面積拡大部分助成 200円/枚 (前年作付面積より3a以上増反した生産者対象)  
③新規作付者に対して苗代半額助成(3a以上)  
④出荷調整施設利用料助成・・・①出荷規格3L、2L処理料金の1/3 ②出荷規格L3処理料金の1/4

**【2.ナスの振興】**

(事業費 600千円)

- 1) 栽培面積拡大を目指して以下の助成対策を実施します。  
①新規生産者に支柱購入半額助成  
②面積拡大部分に支柱購入半額助成  
③新規生産者に接木苗の1/4助成  
④肥培管理の省力化とコスト低減を目的にサスペンションの購入1/3助成  
⑤新品種PC筑陽の試験圃場の設置

**【3.ミニトマトの振興】**

(事業費 600千円)

- 1) 良品質、収量増を目的に以下の助成対策を実施します。  
①需要期(9月)の品質向上、収量増を目的に遮光資材購入助成 (助成額 事業費1/3(上限30,000円))  
②天井ビニールの更新について助成(助成額 事業費1/3(上限30,000円))  
③灌水資材(動力以外)の更新・購入助成。(助成額 事業費1/3)  
④アンジェレの接木苗代助成。(助成額 既存生産者1/3、新規・増反分1/2)  
⑤2条植え栽培の取り組みに対して、追加支柱・資材の購入助成 (助成額 事業費1/3(上限30,000円))

**【4.キャベツ・広島菜・レタスの振興】**

(事業費 800千円)

- 1)キャベツは県域品目に設定されている品目であり、各市場、県、JA本店、各地区本部と情報交換を行い有利販売に努めます。
- 2)広島菜は加工用原菜として需要があり、必要面積の作付け推進を行ない品質向上・収量増を図るために栽培指導を行います。連作圃場での収量確保のためには根こぶ病対策が必要であり、予防剤に対する助成を行います。
  - 根こぶ病対策
    - ①予防剤(オラクル・ネビジン・フロンサイド) 予約購入費に対して1/3助成
- 3)広島菜生産拡大助成 増反部分の苗代助成 苗代100円/箱又は種子購入費助成 2/3
- 4)春作レタス作付けの推進を行い、夏秋野菜出荷までの所得の確保を目指します。
  - レタス 出荷箱代助成 1/4助成

**【5.畑用土壌改良材の助成】**

(事業費 200千円)

- 1)畑用土壌改良材(ミネラルG)の購入助成(10%)
  - ・対象作物 (白ネギ・広島菜・キャベツ・カリフラワー・白菜・大根、高菜、あすっこ、ブロッコリー、レタス)
  - ・助成対象者(JAに出荷申告されている生産者)
  - ・上限数量 (ミネラルG粉、粒、フレコン含む)300kg/10aを上限とする)

**【6.獣害対策品目の振興】**

(事業費 150千円)

- 1)ピーマンの新規生産者へ支柱・ネットの購入費の1/3助成

**【7.菌床しいたけの振興】**

(事業費 400千円)

- 1)安定生産を目的に種菌メーカー(株)北研、森林組合・地域普及部と定期巡回を行います。
- 2)生産拡大を図るため菌床ブロック助成(増加ブロック助成)
  - 令和元年度導入数より増加した数量に対して30円助成
- 3)上面発生栽培の普及による品質改善を行うため上面発生袋助成 事業費の1/3

**【8.花卉の振興】**

(事業費 300千円)

- 1)花卉の振興
  - ①露地花き・・・ケイトウを中心に女性部と連携し面積拡大及び所得増大を図ります。
  - ②施設花き・・・トルコギキョウ・スプレーストック年間を通して花きの販売による所得の増大を図ります。
    - 出荷箱助成 購入費の1/3助成
- 2)露地花卉類の振興
  - 鳥獣害被害で生産意欲低迷の生産者・地域に被害が受けにくい露地花卉類の提案・栽培講習会を行います。(新規花卉類)
    - 新規取組 種子・苗代購入助成 1/2助成(上限30,000円)

**【9.機能性液肥助成】**

(事業費 200千円)

- 1)収量向上を目的に、下記の液肥について助成対策を実施します。
  - ホスプラス、鉄力アクア、ペンタキープ・・・予約購入費の1/3助成

**【10.腐植資材助成】**

(事業費 150千円)

- 1)作物の収穫量向上と肥効率向上のため以下の資材を助成対策を実施します。
  - アヅミンの予約注文分に対して1/3助成

### 3. 畜産の振興

地域での諸課題を高収益型畜産体制（畜産クラスター協議会）にて協議・改善し、畜産の収益性の向上に向けた振興策を実施していきます。

平成29年度より取り組んでいる畜産総合センター事業（子牛・繁殖雌牛の預かり事業）を活用することにより、農家支援と担い手育成を図り、繁殖雌牛の増頭と市場出荷頭数の拡大を図ります。

#### 1) 和牛繁殖

繁殖雌牛の維持・増頭を図り収益の向上に取り組めます。

（畜産総合センター：平成30年度利用実績：繁殖牛22頭、子牛35頭）

島根県が振興している水田放牧と連携し、畜産農家の拡大に取り組めます。

#### 2) 生産性向上への取り組み

継続して実施している繁殖情報管理データを活用しながら、管内での分娩状況を関係機関で共有し、農家巡回等により、母牛、子牛を把握しながら更新及び飼育管理指導を行い生産性向上に取り組めます。

（令和元年度巡回のべ件数：84件）

#### 3) 人工授精事業

繁殖性の向上、牛の生産維持向上を図り生産基盤維持を図ります。

#### 4) 肉用牛改良への取り組み

J A畜産センターへの優良素牛導入を図り管内肉用牛改良への一助を図ります。

|                  |                                                                                                                      |
|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 行 動 計 画<br>具 体 策 | ① 畜産総合センターを活用した生産基盤維持に対する支援<br>② 農家巡回指導の実施<br>③ 授精卵移植を活用した子牛生産向上に向けての取り組みの推進<br>④ 担い手育成の推進<br>（石見和牛プロジェクトを通して畜産人の育成） |
|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 数値計画      | 令和元年度見込み    | 令和2年度目標     | 備考 |
|-----------|-------------|-------------|----|
| 繁殖雌牛頭数(頭) | 405         | 420         |    |
| 子牛出荷量(頭)  | 304         | 323         |    |
| 生乳(kg)    | 8, 422, 851 | 8, 423, 000 |    |
| 販売金額(千円)  | 1, 261, 954 | 1, 249, 800 |    |
| 出荷率(%)    | 79. 0       | 76. 9       |    |

#### 4. 食育活動

生産部会や青年連盟・女性部の活動を通じて農業・食の大切さを次世代の若い人たちに引き継いでいけるよう努力して参ります。

1) 島根おおち青年連盟・女性部主催の「愛菜カレーの日」の実施

2) 菌床しいたけ生産組合の菌育活動(小学校出張教室)

3) その他JA独自の食育活動の実施

#### 5. 地域活性化の活動

TACと関係機関が連携しU・Iターン就農者を中心に地域へ定着する活動を通して地域の活性化を図ると共に、担い手・法人の経営の安定と地域農業の活性化を支援します。

1) 新規就農者へ研修会等を開催し、栽培技術の向上、経営安定を支援します。

2) 大口予約注文を実施し、担い手・法人への肥料農薬その他資材の安価提供を行います。

3) 担い手人間ドックによる担い手や法人への健康づくりの支援を行います。

4) JA本店と連携し地域の担い手と法人の経営分析を行い、経営の健全化への支援を行います。